

明科いいまち通信

いいまち通信は、WEBでもご覧いただけます。▶



<http://akashina.net/localinfo/newstisi>

No. 94

安曇野市明科中川手6824番地1

明科支所：☎62-3001 / 明科公民館：☎62-4605

令和8年3月19日発行



今月の明科の人 紹介



今回は **明科発、本格ミステリの世界へ** です

幅 拓哉（麻根 重次）

「どこの出身ですか」と言われるたび、私はいつも3秒だけ悩む。生まれた病院は札幌、父方のルーツは明科、育ったのは長野市、学生時代は松本にあり、現在の住居は豊科。プロフィールを求められる仕事をするようになり、便宜的に「長野市出身、安曇野市在住」を名乗っている。だが、果たして私の「故郷」はどこだろうか、と考えると、明科が一番それらしいように思う。



故・太田市長への表敬訪問
（選者の島田荘司氏と）

小泉にある祖父母の家には、長期休みのたびに遊びにいった。いとこたちが集まり、実にいろいろな遊びをした。明科町民プール、龍門淵公園、和泉神社、なんでもないあぜ道。全てが私たちの遊び場だった。30年も前の記憶だが、いまだに色褪せない。

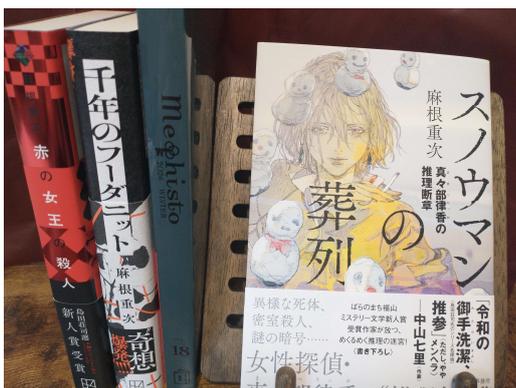
祖母は児童文学作家だった。本稿をお読みの方の中には、祖母の本を目にしたことのある方もおられるだろうか。決して中央で大活躍をしたわけではない。退職後に書き物をするようになり、地元を中心に活動していた。それでも何冊も本を出しており、小学校時代の私は、「図書館に祖母の書いた本がある」というのが密かな自慢だった。

その影響があったのかはわからないが、私が自分でも小説を書くようになったのは8年ほど前のこと。初めて書き上げた長編小説を誰かに読んでほしくて、当時齢90に近い祖母に原稿を渡した。原稿用紙換算で700枚近い大作である。高齢の祖母には酷な頼みだっただろう。だが祖母は、あろうことかほんの2日ほどでそれを全て読んでしまった。読み終えた祖母は、私に電話をくれた。『初めてでこれだけ書けるなら、あなたには文才がある。その種を枯らさないで、いつか咲かせてみせてね』と。

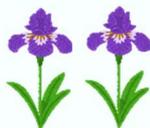
それから6年。私が「島田荘司選ばらのまち福山ミステリー文学新人賞」を受賞し、作家としてデビューが決まった時、祖母は既に他界していた。もう少し早くデビューできていれば、という悔いもある。出来上がった本を手に、小泉の家を訪ねた日。遺影の前に本を供え、手を合わせる。

どこかで、『ほらね、あなたならできると思ってたよ』という祖母の声が聞こえた気がした。

デビューから丸2年が経ち、昨今厳しさを増す文芸界において、幸いなことに私はなんとか本を出し続けられている。先日上梓した3作目『スノウマンの葬列』は、安曇野市を舞台にした本格ミステリの連作短編集。もちろん明科も登場する。「故郷明科」の名前が全国に広まる一助になることを願ってやまない。



明科コラム



元シドニーオリンピック日本代表

安曇野明科カヌークラブ

ーこの町に来てー

代表 安藤 太郎



私は明科よりもさらに山あいの、東京・青梅という小さな町で育ちました。自然に囲まれた環境ではありましたが、人や経験との出会いは決して多くありません。そんな中学生の頃、偶然出会ったのがカヌーでした。そこにはバルセロナ、アトランタ五輪の日本代表選手がいて、その背中に憧れ、気がつけば夢中で競技に取り組んでいました。今振り返ると、田舎町でカヌーに出会えたことは、私にとって人生最大の幸運だったと思います。

学校という限られた世界の中では、どこか息苦しさを覚えることもありました。しかし学校の外で出会う大人たちとの関わりの中では、自由に自分を表現することができました。もしカヌーに出会っていなければ、趣味もなく、日々に満足を見いだせない大人になっていたかもしれません。



とはいえ、スポーツの世界も決して平坦ではありません。仲間が次々と結果を出す中、日本代表に届かない時期が長く続きました。それでも大学時代、ようやく代表に選ばれ、仲間とともに半年間のヨーロッパ遠征へ出発します。海外で多くの人と出会い、言葉を交わす中で、私の世界観は大きく変わりました。「もっと自分を表現していい」「自分の目標や想いを語れる人が評価される」。そう気づいたことで、自分自身と向き合い、より生き生きと人生を歩めるようになったのです。



この経験を、次は子どもたちや地域の人たちにも届けたい。そう思い始めたのが、地方再生の仕事を通じて長野に移り住んでからでした。どこで自分の経験を生かし、多くの人に新しい出会いの場をつくれるのか。答えを探る中で訪れたのが明科でした。北アルプスを望む風景、三川が合流する豊かな水、そして澄んだ湧水。「ここだ」と直感しました。世界 50 カ国以上を巡った私が、この場所で生きたい、挑戦したいと心から惚れた町が明科だったので。

思い立った私はすぐに前市長の太田さんを訪ね、夢を語りました。ありがたいことに、その想いに共感し、支えてくださる方々にも出会うことができました。こうして環境と人に恵まれ、2025年5月にはカヌークラブを立ち上げ、東部アウトドア構想も動き出しました。7月には明科の住民となり、町への愛着はますます深まっています。

まだ道半ばではありますが、この町の自然や人の温かさの中で、多くの子どもたちや訪れる人が新しい出会いと挑戦を見つけられる場をつくりたい。明科で生まれる小さな体験が、誰かの人生を変えるきっかけになる。そんな未来を地域の皆さんと一緒に育てていけたら嬉しく思います。



明科公民館からのお知らせ

Akashina Kouminkan 明科社区中心 아카시나 공민관

05 5月
May



3月
March

イベント等の詳細については、
明科公民館(☎62-4605)までお問い合わせください。

廃線敷ウォーキング

廃線敷の桜並木や鉄道遺跡を眺めながらウォーキングコースを歩きます。

日時：4月15日(水) 午前9時～午後1時

場所：明科廃線敷駐車場集合

ガイド：公民館職員

定員：20名(先着順)

参加費：無料

持ち物：昼食、飲み物

申込み：4月6日(月)、7日(火)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)



いいまちつくろう4月例会

～つながる歌声サロン～

ピアノ伴奏で思い切り歌える幸せを感じながら、健康づくりにつなげましょう。

日時：4月24日(金) 午後1時30分～3時30分

場所：明科公民館 講堂

講師：黒崎 真美さん
(ピアノ講師)

参加費：300円

申込み：不要



春の歌声ひろば

アコーディオンの演奏にあわせてみんなで懐かしい歌謡曲、童謡・唱歌を歌いましょう。

日時：4月28日(火) 午後1時30分～3時30分

場所：明科公民館 講堂

奏者：柴田 勲さん

曲目：青い山脈、朧月夜、茶摘 他

参加費：無料

申込み：不要



健康麻雀教室

認知症予防に良いとされる麻雀を始めてみませんか。初心者、愛好者の方どなたでも参加できます。

日時：5月19日(火) 午後1時～5時

場所：明科公民館 会議室

講師：安井 邦夫さん

参加費：200円

定員：12人

申込み：5月11日(月)、12日(火)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)



いつも常備したくなる！米麴を使った調味料

日本の食生活に欠かせない発酵食品の数々、その中でもお味噌や醤油作りに欠かせない米麴は私たちの豊かな食生活を支えています。今回はその米麴を使ってお肉や炒め野菜などに合わせやすい発酵調味料を作ります。日常のあれこれ、いろいろ話をしながら私たちと一緒に作りませんか？



日時：5月22日(金) 午後1時30分～3時30分

場所：明科公民館 調理実習室

主催：明科いいまちつくろうかい!!発酵文化研究班

参加費：500円

持ち物：マスク、エプロン

定員：20人(先着順)

申込み：5月12日(火)～14日(木)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)

新緑コンサート

新緑の季節に女性の歌声とピアノのしらべをお楽しみください。

日時：5月26日(火) 午前10時～11時30分

場所：明科公民館 講堂

奏者：スパークルドロップス

曲目：いい日旅立ち、糸、花は咲く 他

参加費：無料

申込み：不要



カヌー体験教室

公園の池で安全にカヌーやサップを楽しみましょう。

日時：5月30日(土) 午前10時～午後1時

場所：龍門湖公園

講師：秋元 悠祐さん(ロボロイ代表)

参加費：1,000円(未就学児無料)

申込み：5月21日(木)、22日(金)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)



龍門渚さくらまつり 2026



「この春、龍門渚でお花見しよう」

暖かい日も増えて、春を感じる瞬間が多くなってきました。

桜の季節が今年もやってきます。

4月11日(土)・12日(日)に龍門渚さくらまつりを開催します。

友だちや家族と一緒に、春の一日を楽しんでみませんか？

日時

4月11日(土)宵祭 15:00~21:00(予定)

4月12日(日)本祭 9:00~15:00(予定)

内容

夜桜ライトアップ／ステージイベント／
お花見ラフティングボート／キッチンカー／
クラフトショップ／ワークショップ／
こどもマルシェ など

夜桜ライトアップ期間

4月5日(日)~19日(日)(日没~21:00)



@AKASHINA.SAKURAMATSURI

イベントの詳細や、雨天時の開催については公式 Instagram をご確認ください。



さくらまつり実行委員会



退任あいさつ

明科公民館長 安井 邦夫

この3月で職を辞することになりました。人付き合いの苦手な私がこの職場で 11 年の長い歳月を務められたことは、地域のみなさまの温かいご支援・ご協力のおかげと感謝申し上げる次第です。

これから私は自由な時間を自身で組み立てながら過ごす人生最後のステージに入るわけですが、ここで得られた数々の学びと多くの方々との出会いは、今後の人生の生きがいになると確信しています。最後まで学びを継続しながら楽しく元気に過ごしたいと思います。

長い間、ありがとうございました。どこかでお会いしたら、お声をかけてください。

編集後記

・長い間編集後記を書いてきましたが、これで最後です。ずいぶんくだらないことを書いたような気がしますが、ご容赦ください。これからは日記でも書こうと思います。いいまち通信がいつまでも続くことを願います。(や)

・陽気も暖かくなってきてお出かけ日和が続いています。最近では休日にインドアになりがちなので、たまには外に出て太陽の光を浴びたいと思います。(み)

いいまち通信の掲載記事を募集します

明科いいまち通信へ掲載する記事を募集いたします。なにか発信したい内容などがありましたら、是非ご投稿ください。

募集内容 住民のみなさまからの記事・文章・写真・俳句・ご意見など

投稿要項 投稿する際は必ず氏名・住所・連絡先を記載してください。

・記事内容は、明科いいまち通信編集会議で検討いたします。

投稿方法 ①明科支所(明科中川手 6824-1)へ持ち込む または

②Eメールで送る ⇒ akashina-shisho@city.azumino.nagano.jp

お問合せ 明科いいまち通信編集担当 (TEL:62-3001 FAX:62-4747)